



東京小児療育病院の正面玄関に花水木を植樹し7人の小人を設置



No.45 (令和4年)

社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院
西多摩療育支援センター
後援会

連絡先

〒208-0011
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042-561-2521 (代表)
東京小児療育病院
Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実な
積極的取り組み障害児者と
その家族を支援します

コン・トゥッタ・ラ
フォルツァ

社会福祉法人鶴風会
理事長 松尾 賢二

時の立つのは早いもので、理事長に就任してから6年目になりました。

以前、後援会会長であられる青木継稔先生との雑談の中で、同じ地位に長く留まると人は性格が変わり傲慢になると言われたことがあります。自分はそうならない様に気をつけていますが、性格が悪くなる前にそろそろ交代した方が良くかなと思っています。

私を育ててくれた母は3人おりました。その中の1人は精神面で私を育ててくれた五島瑳智子先生（五代目理事長）でした。五島先生とは、大学病院時代に私の指導医であった井上和子先生（元 第一内科助教

- 1頁 コン・トゥッタ・ラ・フォルツァ
- 2頁 『東京小児』と有馬正高先生
- 3頁 櫻に想うー村山三叔
- 4頁 新型「コロナウイルス」感染拡大のなかで3
- 5頁 上代継在宅地域支援センター生活介護「もえぎ祭
- 6頁 令和4年度鶴風会表彰
勤続四十年を振り返って
- 7頁 決算報告
オルフェの会・みどり祭り・バザー
- 8頁 寄附者名簿・寄贈者名簿

授、東邦大学医療短期大学教授、現 鶴風会（監事）より大学の諸事情で五島先生を紹介されたのが最初でした。その時部屋の壁に貼っていたピアニスト（ポリリーニ）の写真をきっかけにして、クラシック音楽の趣味の話で急速に打ち解けました。その後、ミラノ・スカラ座の公演が日本で開催された時に、なかなか手に入れることが難しいプッチーニ作曲オペラ「トゥーランドット」の高価なチケットを戴きました。後日、五島先生から自宅に「トゥーランドット」の日本語訳の台本が届き、その緻密な心遣いに感激しました。予習出来たお陰で内容が良くなりとても楽しい観劇が出来ました。聴衆には、ピアノストの中村絃子をはじめドレスアップした多くの著名な音楽家が来られていた記憶があります。しばらくして当日講演されたDVDをお土産に持ってお

礼に行く、ここにしながら観劇の感想を原稿用紙に書いて提出してと言われました。さすが五島先生らしいと思つたと同時にこれからは安易にチケットを受け取れないぞと思つきました。

五島先生は大学の入学式でも、皆さんは養殖の鮎になつてはいけません。天然の鮎になりなさいとよく挨拶されたそうです。新入生は何のことか判らず、入学後間もなくキャンブがあり、そこで数日間何もなしな生活を送り、新入生は「私たちはこんなことを勉強しに大学に来たのではない」と抗議をしたそうです。看護師は患者さんを看護するにあたりどのような状況下においても仕事を全うしなければならので、その時必要なものを自分で工夫することの精神を学ばせたそうです。

また、私がアメリカのアトランタから帰国しご挨拶にお伺いした時、アトランタにはサイコロラマがあつて南北戦争のことが良くわかつたでしょ、それにマルチンルター・キングの生家、
「風と共に去りぬ」の舞台になつたマーガレット・ミッチェル・ハウスは見てきたのと次々と詳しく土産話し

を先にされてしまい、色々な分野における知識の広さと奥深さに驚嘆しました。

残念なことに五島先生の臍臓にがんが見つかり、理事長室で初めてそのことを聞かされた時は、余りのショックで涙が止まりませんでした。

先生はいつもと変わりなく淡々と話されていたことがとても印象的でした。

ご自宅にアポイントも取らず突然お見舞いに伺つた時も、仕事では見られない夫婦のいたわりあう姿に心を打たれました。その後、東邦大学大橋病院に入院されたとき、お見舞いと鶴風会の仕事のご度々病室へ行き、人生観や鶴風会の将来についてお話しして頂きました。最後にお伺いした時は、かなり状態が悪く面会禁止となつておりましたが、看護師さんに特別面会の許可を取ってもらいお会いしました。声をおかけすると、ベッドから起き上がるのも辛そうな状態でしたが、はぐくむの原稿の校正をお願いすると、いつもの凜々しい表情に変わり、いつもと違って、自ら今まであまりお聞きしたことがないお話を熱く語つておら

れました。その数日後に亡くなつたと連絡があり、あの時最期が真近に迫つていたことを悟つておられたのだと思つきました。

五島先生には、人を引き付けるカリスマ性があり、そこにいるだけで場の雰囲気が出るくするオーラを持ち、氣遣いが人一倍ありながら考え方は鋼鉄のように筋が通つていた方でした。今更ながらこれまでのご指導に感謝し改めてご冥福をお祈り申し上げます。

コロナ感染症が猛威を振るつてい中、鶴風会も大きな打撃を受けておりますが、残された時間を鶴風会のために全力を尽くしたいと思つています。

『東京小児』と 有馬正高先生

社会福祉法人鶴風会後援会

会長 青木 継稔

東京都立東部療育センターの前院長の加我牧子先生から、少し前になりましたが「有馬正高ものがたり——小児神経学から障害児医学への64年——」と題する小冊子が送られてきました。有馬正高先生は、現在93歳になられます

が、この小冊子は先生の伝記を会話形式に聞き取る形で成り立っています。この小冊子の中に、有馬先生と当社会

福祉法人鶴風会・東京小児療育病院との関連についても詳しく記載されていますので、一読に値する小冊子と思つます。私は、「はぐくむ」に前回、鈴木康之先生のことを書きましたが、今回は、有馬正高先生と当法人鶴風会との関わりについて、私なりの解釈と偏見となりませんが、改めて数回にわたり連載させて頂きたく筆をとりました。

有馬先生は、いつも当法人鶴風会東京小児療育病院のことを親しみを込めて『東京小児』とよく言われていましたので、私も『東京小児』と呼ばせて頂きます。

『東京小児』は、ご存知のように東邦大学医学部卒業生（当時帝国女子医専）の龍智恵子先生を代表として皆様のご尽力により、昭和39（1964）年、東京オリンピックの年に開院となりました。「脳性小児マヒ等の肢体不自由児」の専門の小児療育病院として全国にも数少ない療育施設としてスタートしました。国の援助・厚生省の

絶大なる支援・東京都の補助などを受け期待されていたの開院でした。勿論、東邦大学も応援して医学部第二生理学教室（当時、塚田裕二教授）、とくに東邦大学医学部卒業生の松谷天星丸先生（元藤田衛生学園医科大学生理学教授）等のご尽力もあり、当時日本でも数台しかない最先端のアミノ酸自動分析装置等が完備され研究設備も準備されました（第二生理学教室は、脳とアミノ酸の研究をされていました）。

有馬先生は、当時東京大学小児科より、東邦大学小児科の助教授（当時の主任教授は中山健太郎先生）として赴任されたばかりでした。先生は、小児科の臨床医であり数少ない小児神経学の専門医であったために、『東京小児』にとりましては欠くことの出来ない存在となりました。『東京小児』は、開院直後よりまたたく間に満床状態となり、色々な原因による運動障害を有する子どもさん達が入院してきました。有馬先生は、東邦大学勤務の合間を利用して、主に土曜日・日曜日に『東京小児』に行かれて、じっくりとひとりひとりの入院患児をとて丁寧診察

され、回診されていたっしやいました。いつも、若い小児科の医局員を連れて来られ、よく小野和郎先生が一緒にいられたと思います。

私自身も時々先生のお供をしたり、また、小野和郎先生の運転する自動車に乗せてもらい、青梅街道・新青梅街道を通過して何回も『東京小児』に通いました。入院している子どもさん達はいわゆる脳性小児マヒ、先天性水頭症、筋ジストロフィー症、染色体異常児、各種先天異常児（奇形症候群も含む）、先天性代謝異常児、重症心身障害児など極めて多彩でした。入院中の子どもさん達は、まだ正式な診断名がついていないケースが多かったために、有馬先生は診察を通して診断名をつけていかれました。診察だけでは、診断名が正確につけられないケースもあり、これらのケースについては大学等に紹介して精査などをしてもらうこともありました。

私ども若手小児科医にとりましては、絶好の臨床経験の場となり、有馬先生とご一緒に『東京小児』に行くことが楽しくなり、時間さえあれば『東京

小児』に通いました。私のとりまして『東京小児』での多くの色々な疾患を有する子どもさん達から学ぶことが出来て、その後の小児科医として進むべき基礎となりました。『東京小児』で、どんな障害を持つ子どもさんであっても、『目の清らかな美しさ』、『どの子の肌も新鮮であり生き生きとした美しさ』を感じました。（つづく）

櫻に想う

——村山三寂

社会福祉法人鶴風会
理事 中里 厚

「櫻」は日本を代表する花で、東京小児療育病院の正面中庭にも枝垂れ桜が春の訪れを告げます。この櫻は病院の創立50周年記念に前々理事長の五島瑳智子先生お手植えの櫻です。

しかし残念なことに最近、院内駐車場や西多摩支援センターの有名な櫻並木も大きく剪定されてしまい、小ぶりになってしまいました。特に都内の住宅密集地の櫻は虫や落葉への近隣からの苦情で、無残に切られることが多くなり、今や絶滅危惧種となっています。

・櫻は詩や歌の世界ではいつも主役で登場します。

昔の人達は櫻を愛で、多くの和歌を詠んでいます。特に平安時代末期には武士から出家し、山家集で有名な西行法師は櫻をこよなく愛し西行櫻としても有名です。

○吉野山 一むら見ゆる白雲は

咲き遅れたる 櫻なるべし

○春風の 花を散らすとみる夢は

さめても胸の 騒ぐなりけり

○尋ねとも 風のつてにもきかじかし

花と散りにし 君が行方を

何時の世も櫻が咲くと上野の山の人出の様に、人が集まるので

○花見にと 群れつつ人の来るのみぞ

あたら櫻の科には有りける

○世の中に せめて櫻のなかりせば

春の心は のどけからまし

と詠まれています。

・踊りや歌舞伎、お祭りなどの伝統芸能は昔から代々継代で伝承されてきました。平安時代中期六歌仙の一人能因法師を平安末期の西行が追従し、さらに江戸前期には奥野細道の松尾芭蕉が西行の歩いた同じ道を吟行し、全国各

地に西行や芭蕉の詠んだ多くの歌碑が残っています。

京都の大原落柿舎は日本三大俳諧道場の一つで、平安時代末期には藤原為忠の子、藤原為業（寂念）為教（寂超）頼業（寂然）は3人とも出家をし、大原三寂とも呼ばれていました。

・東京小児病院は創始者の龍智恵子先生の障碍者に対する医療の理念を継承し創立57年を迎えております。

この間多くの方々がこの病院を支え続け、今日に至っておりますが、特に施設の運営の苦しい時代、帝国女子医学専門学校卒業の以下の3人の先生方が必死に病院を支えてくれました。

- ① 第3代理事長 本明登志子先生は大学の教職を辞し、中野区で開業し診療が終わると、夜は人手の足りない村山の病院の当直まで行っておりまして。御家族は先生の健康を随分心配なさったそうです。
- ② 第4代理事長 倉島摂子先生もやはり中野区で開業のかたわら、多くの会社や各種団体へ足を運び病院の寄付集めの行脚を続けました。
- ③ 第5代理事長 五島瑳智子先生は

東邦大学の看護学部学長のかたわら夜には村山の病院で事務方の能力向上のため、やはり夜遅くまで指導をして戴きました。

これは鶴風会の創始者の龍智恵子先生の障碍者に対する理念を確実に継代継承していったもので、お三方の先生は出家こそしませんでした。生涯を通じて障碍者の医療支援に奉じた方々でした。

わたしは櫻の花を見る度に先生方の献身的な姿を思い出し、村山三寂と思っております。

・病院の理事長室には歴代の理事長の写真が架けてあり、私達はいつもその下で議論をしております。何か困る事があるときと写真を見上げると、村山三寂がいつも厳しく、そして優しい笑顔で私達を見守っていてくれます。

今、私達の最大の目標は古くなった病院の全面建て替え工事です。巨額の費用がかかりますので、そのため職員一同懸命になって毎日の業務をこなしております。

皆様方にはどうか今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。



院内の桜の様子

新型コロナウイルス 感染拡大のなかで3

東京小児療育病院
院長 椎木 俊秀

新型コロナウイルス感染症パンデミックは発生から2年半以上が経過しましたが、今年の1月からは第6波が始まり、高止まりのまま7月からは第7波に移行し、猛威を振るい続けています。

当院はクラスター阻止を最大目標にPCR検査なども積極的に活用し、徹底した水際対策を行ってきました。第6波になって感染する職員が一気に増

えましたが、利用者への感染は防いでいました。しかし、第7波に入った7月20日にとうとう利用者の感染者が出たかと思うと、あっという間に4病棟のうち2病棟でクラスターになってしまいました。オミクロン株BA・5系統の感染力はすさまじいものがありました。

利用者に関しては8月1日を最後に感染する方はなく、8月18日をもって全病棟が隔離解除になりました。4病棟関係の感染者は総数92名（職員46名、利用者46名）でした。残念ながらお一人、お亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りします。

様々な課題も見えてきました。今後は感染の状況に応じてN95マスクを積極的かつ適切に使っていくことが非常に重要だと考えています。

次の対策として全病棟に空気循環式紫外線清浄機を35台設置しました。紫外線照射が新型コロナウイルスの不活化に効果があるということを利用した機器です。2021年7月には理化学研究所がそのメカニズムを発見したことを公表しています。

さらに初動が非常に大切なことを改めて痛感しました。利用者の方に感染者が出た場合にすぐに隔離できるように、病棟外の場所も含めて至急検討していく予定です。

今回のクラスターを起こした原因、それへの対応等について徹底した検証を行い、今後に生かしていきたいと思っています。痛苦の経験から学び、最新の知見や技術も積極的に取り入れ、成長し続ける「学習する」組織でありたいと思っています。

まだ第7波は続いています。さらに感染力が高いと予想されているBA・275も検出され始めています。利用者の方の日常を取り戻す努力・工夫を行うつつ、引き続き緻密な感染対策を行って参ります。

上代継在宅地域支援センター生活介護

「もえぎ祭」

西多摩療育支援センター
通所係長 佐藤 優

新型コロナウイルス感染症が広がり始めてから約3年が経ちました。重症心身障害者の通所施設である上代継在

宅地域支援センターでは、その間も外出企画や家族交流など様々な活動や行事が中止、または規模を縮小しての開催となってしまいました。しかし、その中でもなんとかご利用者に楽しんでいただくこと、職員間で話し合い、感染リスクの少ない屋外の場所を設定したバス外出や部屋と部屋を動画で繋ぎ、お互いにやり取りを楽しむ活動やもと1日に集中して行っていた行事を1週間の中で分散して企画し、密にならないように対策を講じながら過ごしてまいりました。

今回の文化祭「もえぎ祭」は様々な行事が中止、縮小する中でご利用者やご家族、そして職員が楽しく取り組めるような行事はないかと考えて企画させていただきました。大枠については職員全体で話し合い、具体的な内容についてはグループごと、ご利用者を変えて決めていきました。こうして企画された「もえぎ祭」は、準備から当日の係までをグループ単位で行い、スローガン「SMILE」を合言葉に力を合わせ、利用者と共に楽しみながら進めることができました。壁面にはみ

んなの顔写真をアート作品の様に加工して展示し、美術館にしているような雰囲気味わいました。それでは、当日の内容についてご紹介します。

1日目は太鼓演奏で「Whitberryの夏祭り」をグループごとに演奏しました。演奏中はノリの良い音楽に自然とばちを握る手にも力が入り、真剣な表情をみせていましたが、サビの速いテンポのところでは介助する職員が慌てている様子を見て、みんなニヤニヤしていました。

2日目はウルトラクイズということ、出題者側と回答者側に分かれてデイズニーに関する問題とオリンピックに関する問題を楽しみました。問題自体には・・・といった反応でしたが、「ピンポン！ブブー！」といった効果音や動きに驚いたり笑ってみたりと色々な表情を見せてくれました。3日目はスターツアーズを行いました。あらすじはルークやレイア姫に扮したご利用者がダース・ベイダーに追われているので、みんなで追いかけてフォースの力でダース・ベイダーを成敗しようというものでした。まず、

ダース・ベイダーを追いかける宇宙船（テントタープ）に乗り込み、ワープしているような感覚が味わえるように星に見立てたLEDを点灯すると、みんな目を丸くして雰囲気を感じていました。そしていざ、ダース・ベイダーと対峙すると透明ビニールを繋げた円柱をダース・ベイダーのほうに傾け、円柱の中に入っているピカピカと光る球（フォース）を何度もぶつけてダース・ベイダーを倒しました。ご利用者はルークとレイア姫を救い満足げな表情を見せてくれました。

今回の「もえぎ祭」は準備から終了までご利用者、職員ともに楽しく過ごすことができました。良い時間となりました。これからも全員で丸となって色々なことに取り組んでいきたいと思えます。



令和四年度 鶴風会表彰

当法人事業に貢献してくださる方々の功績を称え、令和四年度鶴風会表彰を行いました。受賞者の方々には、これまでのご尽力に心より感謝いたしますとともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

永年勤続表彰 (敬称略)

勤続四十年

栄養士 西楨 正行

調理師 庄司 洋

勤続二十五年

理学療法士 山口奈津恵

理学療法士 松永 文子

生活支援員 渡辺 明彦

生活支援員 千ヶ崎孝子

勤続二十年

看護師 境 りえ

看護師 八代 博子

生活支援員 小原ひろみ

勤続二十五年

医師 和田 恵子

作業療法士 石原 幾子

看護師 阿部 千幸

生活支援員 佐藤健次郎

生活支援員 鈴木 野枝

勤続二十年

医師 田村 貴子

作業療法士 小松 陽介

看護師 栗原 佳奈

生活支援員 太田 雅代

生活支援員 小泉 浩一

勤続十五年

医師 松井 秀司

心理師 高橋眞理子

看護師 栗原由美子

看護師 岩田 由圭

生活支援員 齋藤 利広

生活支援員 尾形 晶子

生活支援員 武田 雅

生活支援員 堀口 恒平

生活支援員 中村 洋平

生活支援員 伊藤 祥子

生活支援員 森田 美里

事務 山下 修佑

事務 上村 裕史

施設管理 石田 隆裕

勤続十年

作業療法士 坂下 梓

臨床検査技師 野崎さと子

看護師 新條 綾

看護師 小山 和夫

看護師 堀口 公実

准看護師 鈴木 美香

生活支援員 木内 理沙

生活支援員 鈴木 英里

事務 石川 大輔

事務 堀内 政彦

勤続四十年を 振り返って

栄養科
主任 西楨 正行

今年度の永年勤続表彰があり、私も勤続四十年の表彰を受けました。

はじめ、東京小児療育病院に案内されて見学した時は、現在の病棟ができる前までの本館の外来棟の一階に総務事務室、二階に理事長室や会議室など同居するように重度心身障害施設のみどり愛育園の五十床の病棟があり、小さなベッドで寝ている子供達を今でも鮮明に覚えています。

また、初めて勤続十年の表彰を受けて以来、その先の表彰を受けている職員の方々を見ていて、いつも五年後の自分はどうしているのだろうかと思っています。したが、自分のやりたかった仕事を四十年も続けられた事は本当に幸せな事だと思います。

本日に色々な事が思い出されます。病院の変遷、栄養科の変

遷、そして私自身の変遷、それぞれに感慨深いものがあります。

入職当時は、職員の数も少なくな夏には、院庭で提灯をぶら下げてご座をひきその上にテーブルを並べた納涼大会、秋には日帰り旅行・一泊旅行、冬には体育館で大抽選会もあつた忘年会もありました。その時の料理・オードブルはすべて栄養科で作って提供していました。今のコロナの時代と比べたら考えられない時代でした。当時は色々な行事があつて職員同志の親睦も深められていたような気がします。栄養科においては、四十年前は百名ほどで食事の時間は、朝食六時、昼食十時、夕食十六時からというところでもない早い時間で、食事形態も普通食・きざみ食・ミキサー食の三形態のみと、流動食も五名ほどでそれぞれを手作りで提供していました。

現在、栄養科の名称は診療部栄養科ですが、その当時は庶務課給食係で、職員食の管理など

もしていました。職員数八十名弱の食事を提供していて、日替わり定食や土曜日曜にはラーメン・丼ものがあり結構評判が良かったように記憶しています。また、入職当時の給食係長が東京小児療育病院の開院時からずっと勤務された方が当時六十一歳で、現在の私の年齢と同じでなにか歴史のようなものを感じてなりません。

この四十年間で、私も結婚し子供にも恵まれ、職場先輩達の定年退職、後輩達との病氣退職、自己退職などの別れ、新しい人達の出会いを沢山経験して来ましたが、数え上げればきりがありませんが、その時々々の悩みや喜び、こうすれば良かったという後悔も含めて、全てが今の私の力になっていると思います。そして、私がこんなに長い間勤められたのは職員の皆さんのおかげだと思っています。とても感謝でいっぱいです。今後頑張り続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人 鶴風会 令和3年度 事業活動計算書

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計	4,326,368,601	4,215,171,316	111,197,285
サービス活動費用計	4,353,151,018	4,294,955,387	58,195,631
サービス活動増減差額	-26,782,417	-79,784,071	53,001,654
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計	29,684,058	31,098,593	-1,414,535
サービス活動外費用計	3,880,170	4,611,902	-731,732
サービス活動外増減差額	25,803,888	26,486,691	-682,803
経常増減差額	-978,529	-53,297,380	52,318,851
特別増減の部			
特別収益計	142,581,371	36,113,777	106,467,594
特別費用計	333,199,665	39,668,438	293,531,227
特別増減差額	-190,618,294	-3,554,661	-187,063,633
当期活動増減差額	-191,596,823	-56,852,041	-134,744,782
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額	1,426,642,799	1,483,494,840	-56,852,041
当期末繰越活動増減差額	1,235,045,976	1,426,642,799	-191,596,823
基本金取崩額	0	0	0
その他の積立金取崩額	108,480,000	50,000,000	58,480,000
その他の積立金積立額	60,000,000	50,000,000	10,000,000
次期繰越活動増減差額	1,283,525,976	1,426,642,799	-143,116,823

社会福祉法人鶴風会では、経営の透明性確保を
 するため、社会福祉法に基づき情報を公開して
 おります。

決算報告

社会福祉法人 鶴風会 令和3年度 資金収支計算書

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
事業活動収入計	4,341,606,000	4,356,052,659	-14,446,659
事業活動支出計	4,160,883,000	4,111,980,995	48,902,005
事業活動資金収支差額	180,723,000	244,071,664	-63,348,664
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	141,024,000	139,404,500	1,619,500
施設整備等支出計	342,461,000	338,884,359	3,576,641
施設整備等資金収支差額	-201,437,000	-199,479,859	-1,957,141
その他の活動による収支			
その他の活動収入計	170,544,000	171,589,381	-1,045,381
その他の活動支出計	115,830,000	115,709,088	120,912
その他の活動資金収支差額	54,714,000	55,880,293	-1,166,293
予備費支出	0	0	0
当期資金収支差額合計	34,000,000	100,472,098	-66,472,098
前期末支払資金残高	1,624,340,279	1,624,340,279	0
当期末支払資金残高	1,658,340,279	1,724,812,377	-66,472,098

社会福祉法人 鶴風会 令和3年度 貸借対照表

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	2,138,542,875	1,918,707,077	219,835,798
固定資産	4,245,010,691	4,537,399,403	-292,388,712
基本財産	2,359,378,004	2,533,511,577	-174,133,573
その他の固定資産	1,885,632,687	2,003,887,826	-118,255,139
資産の部合計	6,383,553,566	6,456,106,480	-72,552,914
負債の部			
流動負債	648,544,238	541,393,179	107,151,059
固定負債	1,388,900,171	1,394,702,821	-5,802,650
負債の部合計	2,037,444,409	1,936,096,000	101,348,409
純資産の部			
基本金	1,705,794,456	1,705,794,456	0
国庫補助金等特別積立金	804,260,181	786,564,681	17,695,500
その他の積立金	552,528,544	601,008,544	-48,480,000
次期繰越活動増減差額	1,283,525,976	1,426,642,799	-143,116,823
(うち当期活動増減差額)	-191,596,823	-56,852,041	-134,744,782

『オルフェの会』
開催中止について

毎年恒例となっております「オルフェの会」
 につきましては、令和4年12月4日（日曜日）
 に開催の予定をしておりましたが、新型コロナ
 ウイルス感染症の収束の見通しが立っていない
 状況に鑑みて、参加者・関係者の皆様の健康・
 安全面を第一に考慮いたしました結果、今年度
 についても開催を見合わせることにいたしました。
 楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑
 をおかけして誠に申し訳ございません。ご理解
 のほど、何卒よろしくお願い致します。

社会福祉法人鶴風会後援会 事務局

『みどり祭り・バザー』の
開催中止について

毎年恒例となっております「みどり祭り・バ
 ザー」につきましては、令和4年10月23日（日
 曜日）に開催の予定をしておりましたが、新型
 コロナウイルス感染症の収束の見通しが立って
 いない状況に鑑みて、参加者・関係者の皆様の
 健康・安全面を第一に考慮いたしました結果、
 今年度についても開催を見合わせることにいた
 しました。楽しみにして下さっていた皆様には、
 ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。
 ご理解のほど、何卒よろしくお願い致します。

社会福祉法人鶴風会後援会 事務局

社会福祉法人鶴風会へ

寄附者「」芳名

令和4年3月～令和4年6月
241名(五十音順・敬称略)

青木 継稔・青木万智子・青木 美澄
青木りう子・安達 久夫・安部 良治
厚地 良彦・荒木眞佐子・秋山 尚美
浅子 薫衣・浅川 恭行・浅川 和子
浅田 栄一・浅田 栄・足高 毅
足立 嘉子・明間 邦子・伊藤 正俊
井上 美俊・井村 和博・一林 繁
稲垣 登稔・岩淵 聡・五十嵐良典
石原 学・石川稚佳子・石塚 博子
石田 哲朗・泉水 昇・飯国紀一郎
飯国 弥生・飯国洋一郎・瓜田 純久
上田 進・梅田みほ子・海老根伊佐子
小原 明・小原 桂子・小川美佐江
小澤 翠・大江 容子・大村 一夫
大竹 喬二・大塚 周二・大島 剛
大高 究・金森 勝士・川島 福恵
加藤まこと・加藤美恵子・加藤祐之助
加藤 葉子・河上 修・鎌田 直子
金子 晴生・甲斐 俊吉・鹿島田忠史
狩野 修・春日井正典・勝見 千明
神田 悠美・片桐 孝治・鬼頭 秀明
菊池 洋子・木下 俊彦・久保 初美
久保田伸枝・桑原 千草・桑原 利章
黒瀬 嘉幸・黒木 貴夫・倉根 理一
月花 亮・近藤 栄作・向山 秀樹
向山 徳子・小西 冬海・小泉 美子

小林純二郎・小林 静江・神山 悠子
先山 隆司・佐々木道子・佐々木裕美
佐多 由紀・佐藤 重雄・佐藤 信一
佐藤 信秀・佐藤 宣・佐藤 中
佐藤 麗子・坂本真理子・坂本 勉
酒井 謙・西條 公勝・齋藤 康子
齋藤 伸行・齋藤 眞一・齋藤 洋子
齋藤 彌・澤井 寛人・澤田 洋一
塩野 久子・塩野 則次・志島眞理子
首藤さち子・新谷 義克・正田 嘉子
正田 穂積・清水 一輝・清水 義勝
清水 友理・島津和貴男・島田 長人
島田 敏雄・島野 光・忍足美代子
炭山 嘉伸・炭山 朋子・杉 薫
杉原智恵子・杉山 尚子・杉山 卓哉
杉本 寛子・杉本 元信・鈴木 秀明
芹澤 滋幹・袖山巳恵子・館野 昭彦
高月 誠・高木 利明・谷野 徹
田村 恵子・田中 宗史・田中 政信
高橋比路美・高槻 義夫・高木 芳夫
高野 恭子・高野 祐・高良 毅
築山 巖・継 行男・月本 一郎
月本 伸子・塚原 洋子・堤 俊一郎
戸谷 夏子・東條 賢一・朽久保哲男
永山 隆一・永澤 康滋・中岡 義明
中村志津子・中村 豊・中谷 尚登
中野 重徳・中里恵美子・中里 良
中澤 一治・長岡 貞雄・長沼 浩二
長田 因雄・並木 温・二宮 文乃
西原 憲一・西宮 常代・西村 絵美
西牟田 守・野村 直子・野本 一臣
花岡 正哲・橋詰 直孝・橋口 玲子

原山 国秀・原田 孝・原田千鶴子
原田 則雄・原田裕美子・早原 千鶴
早川 浩市・長谷川和寿・波多野道弘
林 佳子・林 信子・土方 淳
樋口志津子・蛭田 啓之・平田 徹
平野 盛久・藤森 芳史・布施 正博
本多 拓朗・星出 陽子・星野 光雄
堀口 安夫・松原 龍弘・馬嶋 順子
牧野 紘美・宮代 英吉・宮脇 浩紀
宮崎 元伸・三宅 三・水吉 秀男
水野久美子・水野 惇子・満長 圭子
村川 公一・村川世津子・武者 芳朗
守田 正三・守屋 栄・森 紘子
森 克彦・森田 峰人・森澤 豊
百瀬せつ子・望月 祐一・山下 美玉
山口 美穂・山崎 公子・山村 憲
山田 健太・山本 温子・山本 高裕
山崎 大治・吉田 宏重・吉田 正己
吉田 友英・龍 倫之助・渡邊 正志
医療法人阿部内科胃腸科医院
理事長 阿部 正和
ウイズ㈱
㈱エクスセル・サービス
㈱銀座トマト
㈱クリンワーク
㈱コンテス
立川酸素㈱
㈱東新商会
医療法人社団嘉明会
横浜東邦病院
東京小児療育病院
地域支援センター 通所保護者会

社会福祉法人鶴風会へ

寄贈品「」芳名

令和4年3月～令和4年6月
6名(五十音順・敬称略)

おむつ 加藤信雄
岡田智子
岡田智子
食 品 岡田智子
通所利用者
洋服 川野明日香
洋 服 加藤信雄
訪問入浴セット



正面玄関の花壇のひまわり